

タイトル「2019年度 教養科目シラバス」、フォルダ「2019年度 教養科目シラバスーサテライト科目」
シラバスの詳細は以下となります。

科目名	地域ブランド論		
担当教員	藤田 和史 戴 容泰思		
対象学年		クラス	
講義室		開講学期	後期
曜日・時限	時間外	単位区分	
授業形態	講義・演習	単位数	2
準備事項			
備考	全学部・全学年 実施場所: 岸和田サテライト(岸和田市)		
科目名(英語表記)	Regional Brand Theory		
授業の概要・ねらい	<p>本科目のねらいは、地域ブランドと地域経済について学び、その関わりについて理解することです。</p> <p>地域活性化の名の下に、多くの地域が地場産業・製品のブランド化に取り組んでいます。それらの事例の中で、優良な地域ブランドとその手法や戦略管理について、具体的な事例を取り入れながら学んでいきます。主には、農林水産業を中心とした第一次産業とそのサービスを提供する第3次産業、そして伝統的な工業製品の産業集積による第2次産業分野の2部構成とします。</p> <p>なお、本講義では、実際に地域を訪問し、見学・説明を受ける回を設ける予定です。</p>		
授業計画	<p>10/12 13:00～17:00 ガイダンス 地域経済と地域ブランド 地域ブランドとは</p> <p>10/26 13:00～17:00 伝統工芸と産業集積 第二次産業におけるブランド化(1) 第二次産業におけるブランド化(2)</p> <p>11/2 9:00～17:00 フィールドワーク(1) フィールドワーク(2) フィールドワーク(3)</p> <p>11/9 13:00～17:00 第一次産業におけるブランド化～野菜・果物 第一次産業におけるブランド化～畜産・酪農 6次産業化によるブランド化</p> <p>11/16 13:00～17:00 地域ブランド戦略とその管理(1) 地域ブランド戦略とその管理(2) 全体まとめ</p> <p>なお、フィールドワークは11/2に行います。フィールドワークは現地集合となりますので、注意してください。</p>		
到達目標	様々な地域ブランドについて学び、その性質やブランド戦略を活かすことができるようになること。		
成績評価の方法	授業中の議論・予習問題への回答(30%)およびレポート(70%)で評価します。		
教科書	特に定めません。		
参考書・参考文献	植田浩史・桑原武志・本多哲夫・義永忠一・関智宏・田中幹大・林幸治 2014.『中小企業・ベンチャー企業論[新版]: グローバルと地域のはざままで』有斐閣。		
履修上の注意・メッセージ	<p>岸和田サテライトでの開講です。積極的な参加を期待します。</p> <p>フィールドワークは現地集合となりますので、注意してください。 詳細はガイダンス時に改めて説明します。</p>		
履修する上で必要な事項	フィールドに出ますので、学生は学研災・学研賠に加入しておいてください。		
受講を推奨する関連科目	世界農業遺産、食と農のこれからを考えるなど		
授業時間外学修についての指示	授業時に講師から提示された予習課題に自主的に取り組んでください。それを踏まえて、授業で議論をします。また、適宜参考書も紹介しますので、それらを精読した上でレポートに取り組んでください。授業時間の約2倍の授業時間外学修が必要です。		
その他連絡事項	特になし		
科目ナンバリング	C0950013J		